

令和5年度 第2回大阪府立泉北高等学校 学校運営協議会 議事録

- 日時：令和5年11月22日（水）午後2時30分から4時
- 運営協議会委員（敬称略）
 - 菊田 久雄（大阪公立大学 副工学部長）、中村 俊一（立志館ゼミナール館長）
 - 池内 博一（追手門学院大学 准教授）、仲里 セイ子（泉北高校 PTA 会長） 欠席2名
 - 校長、教頭（司会）、小田（事務長）、池ノ上（首席、書記）、大内（首席）、篠原（進路指導主事）、榎阪（総合科学科長）、富田啓（国際文化科長）

1. 校長あいさつ

8月下旬に新型コロナウイルス感染者が増加したが、現在はインフルエンザが流行している。学級閉鎖となったクラスもあるため、引き続き感染防止対策を行う。インテックス大阪や堺市立堺高校にて合同説明会を実施し、また、本校においては中学生と保護者対象の説明会を実施し、学校紹介動画上映や生徒による学校案内、質疑応答を行った。令和6年度の募集人員が総合科学科1クラス増となり、計8クラスの予定。また、9月に開催された文化祭では、保護者や中学生に多数来場いただき、学校の様子を公開した。2年生は11月にスタディツアー（沖縄）へ行く予定。3年生は推薦型選抜が始まっている。探究活動では、ボランティアアワードの全国大会に3チームが出場、また、環境大臣によるベストナッジ賞の受賞、G7貿易大臣会合に堺市 PR のために探究活動として参加した。各国の要人に生徒自身が企画した部物品を紹介した。部活動においては、少林寺拳法部が世界大会優勝、全国大会準優勝、ダンス部は全国大会出場するなどの結果を残した。総合科学科の探究では大阪府学生科学賞に選出され、日本学生科学賞へのエントリーを済ませ東京での最終発表を待っている。英語活動においてはスピーチコンテストや LETS の大会に出場予定である。

2. 授業見学の感想

（委員）生徒をうまくその気にさせて指導を行っている。受験対策であってもプロジェクターを使うことで視覚を刺激することが有効である。

（委員）若い教員への期待が高まった。より一層自信と威厳を持ってほしい。キーワードを活用して印象付けるなど、記憶を定着させる工夫を行うべきである。英語はうまく授業されている。

（委員）盛り上がりのある授業と、そうでない授業がある。活動があるか無いかで、盛り上がり方が変わる。大学生よりもよくできているのでは。

（委員）自分が高校生のころとあまり変わってない授業も見受けられた。プリントやノートを使って行うタイプ。さらなる IT の活用を望む。先生がインタラクティブに授業を行っているようではあるが、国際レベルの人材になるためには、生徒間でのやり取りがもっと必要である。英語ではできているが、他教科についてはまだ不足しているのではないか。アメリカでは小学校からディベートを行っている。もっと自発的に授業に参加できる工夫を求める。しかしながら生徒たちは全体的にきちんと授業を受けている印象。

3. 報告事項

①令和5年度学校経営計画進捗状況（校長より）

（委員）探究活動発表会については、発表前と発表後で生徒がどのように変化したのか。発表会後のフィードバックをどこまでできるかが大切である。

（事務局）サイエンスデイで大学の先生にコメントをいただくと、各自考察し自分の研究に自信を持って答えられるようになってきている。それを聞いた周囲の人間にとってもよい経験となっている。データ処理の大切さに気づくことができる。

（委員）現段階ではいろんな分野で活躍しているので、非常に楽しみである。

（委員）基礎学力の向上について、偏差値50以上をめざしているが、目標としては少し低いのではないか。

（事務局）今後検討する。1・2年生全員が大手予備校の模試を受けている。

（委員）探究活動において多数受賞したことが素晴らしい。所属はサイエンス部か、探究活動か。

（事務局）5名中2名はサイエンス部であり、授業以外に研究を実施した。数学の班は探究活動の授業にて、各自研究した。

②今年度の主な取組みについて

（事務局）国際文化科の探究活動

4クラスの2年生160名を8つのゼミに分けて、8人の教員が担当している。協働をテーマの一つとし、必ずグループ（2人以上6人以下）で探究活動を行っている。8人の教員は科目が様々であり、SDGsに関連するテーマで研究を行う。生徒が興味を持つテーマを見つけて班で探究を行う。社会問題はほとんどがSDGsに関連するので、多岐に渡った探究テーマになっている。生徒の探究テーマが教員の専門科目にならないことがある。泉北レモンを活用した商品開発や、様々な素材を用いたメニュー開発などを行っている。思考のプロセスをロジカルにすすめていく。10月下旬に実施したスライドを活用した中間発表を行った。内容は問いの設定や今後の展望、アクションプランなど。2月の最終発表に向けて今後取組みを深めていく。2年生の活動を3年生でも継続し、全国大会に出場したいという生徒が多い。様々な企業や行政と協力しながら探究活動を進めている。

（委員）指導する教員がテーマについてプレゼンするという形式は以前から行ってきたのか？

それは先生方にとってもよい経験になるのか？

（事務局）教員にとって生徒に寄り添い自分を見つめる良い機会になる。

（委員）堺市との連携とは、どのように行っているか。

（事務局）堺市環境政策課や、堺市主催の発表会などに参加している。堺市の広報活動に繋がるため、積極的に関わっていただいている。

（事務局）総合科学科の探究活動

理系を選んで本校へ入学する生徒のレベルを上げることが目標。基本的な知識を育んだ上で探究活動を行い、その能力を伸ばしたい。2年生全員が探究活動を行う。日本科学学生大賞を勝ち取った生徒たちも自ら学び研究を行っている。

（事務局）3年生の進路希望状況

指定校推薦 約30名

共通テスト出願者 約80名

総合型選抜 立命館1名 同志社1名 その他約10名合格

就職 1名 公務員

(委員) 数字は例年並みか。

(事務局) 例年より指定校推薦の希望者が6割減、共通テスト志望者も年々減少している。

4. 今後の泉北高校の在り方について

(校長) 1限当たりの授業時間とカリキュラムについて検討中。目的はさまざまな教育活動の充実(講習やクラブ活動、探究活動等)自ら選び活動するものの時間の確保をめざす。

その他

特になし

事務連絡

第3回学校運営協議会日程

令和6年 1月31日(水) 15:45~17:00(予定)

以上